

京都国立博物館の展示と特別展

京都国立博物館は一般に、他の機関から貸し出されている特定のトピックに関連する重要な美術品を集めた年に 2 回の主要な特別展を開催しています。今年の残りの期間、テーマ別展示は、博物館が所有または委託する作品で構成されます。膨大なコレクションと、次世代の博物館の宝物を保存および保護する必要があるため、常設コレクションのアイテムは継続的に展示されていません。代わりに、テーマ別の展示会では、さまざまな作品が毎月または 2 回、新しく設置されます。

これらの定期的な入れ替えは、露出過剰による損傷を防ぎます。また、入れ替えは、訪問者が訪問のたびに新しい何かを発見することに役立ちます。この素晴らしいセレンディピティの約束は、「一生に一度」という意味の日本語の一期一会とも関係があるかもしれません。この言葉は、お茶の達人千利休（1522 年～1591 年）にまでさかのぼることができ、人生のどの瞬間も繰り返せず、すべての集まりが特異で貴重であることを強調しています。この観点から見ると、京都国立博物館を訪れるたびに貴重な体験ができます。